

令和2年12月定例会会議録

(令和2年12月22日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 12月定例会会議録

- 【開催日】 令和2年12月22日（火）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 大会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
富田 壽人 教育委員
松永 松喜 教育委員
水田 千春 教育委員
奥村 留美子 教育委員
- 【出席職員】 宮田 径 教育部長
松岡 猛 教育部総括審議員兼次長
和久田 敬史 教育部次長
松川 由美 教育政策課長
高嶋 宏幸 学校教育課長
竹下 圭一郎 教育施設課長
岩崎 龍一 生涯学習課長
入佐 正夫 教育サポートセンター所長
松村 哲治 博物館未来の森ミュージアム副館長
井上 雅晴 学校教育課審議員
松島 元子 学校教育課主幹兼教育支援係長
- 【事務局】 山本 雄二 教育政策課長補佐兼教育政策係長
西村 妙子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <報告案件>
①報告第25号 八代市議会令和2年12月定例会について
②報告第26号 令和2年度12月補正予算の概要について
<議案案件>
①八市教委議第39号 八代市立幼稚園規模適正化等審議会
における諮問について
<報告案件>
③報告第27号 修学旅行の中止等に伴うキャンセル料等補助金の交付について
1. 開会 (午後3時11分 開会)
2. 会議録承認 令和2年8月定例会、9月定例会、10月定例会、11月臨時会①、11月定例会、11月臨時会②

3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

〈報告第25号〉八代市議会令和2年12月定例会について

宮田教育部長

資料により説明

12人の議員のうち6人の議員から教育部に対し質問があった。

西濱和博議員からは、特別支援教育環境等のさらなる充実に向けた取組について、八代市特別支援教育推進計画の策定の意義や八代支援学校におけるキャリアサポートについて質問があった。これに対し、子供一人一人の確かな学びと自立や社会参加の実現のために特別支援教育の充実を図ることを目的に策定し、全ての学校・園に配付し、共通理解することができた。また、八代支援学校を特別支援教育のセンター校とし、高い専門性を活かして各学校・園に積極的な支援を行うこととしている。キャリアサポートについては、本人の希望を第一に考え、就労先の開拓等に力を入れているとお答えした。

古嶋津義議員からは、市立幼稚園の在り方について、園児数の状況、それに対する取組、八代市立幼稚園規模適正化等審議会の内容について質問があった。これに対し、園児数は減少傾向にあり、園児数増加を目指して、平成28年度から保育終了後に1時間程度の預かり保育を実施しているところで、夏季休業中の預かり保育についても実施できないか検討している。また、八代市立幼稚園規模適正化等審議会については、今後の幼稚園教育や幼稚園経営の在り方などについて審議をしていただく予定であるとお答えした。

橋本隆一議員からは、教育現場における新型コロナウイルス感染症対策について、臨時休業期間中の学校や家庭での取組、それによる影響や課題について質問があった。これに対し、家庭での生活や学習について共通した取組を行ってもらうよう通知文を作成し、全学校に周知を図った。また、学校では、家庭訪問等により状況把握に努め、学習プリント等を配付した。家庭においては外出を控え、手洗い・うがい等の感染症対策をお願いした。影響や課題については、授業時数の不足、運動会等の規模縮小、修学旅行の見直し等があったとお答えした。

橋本徳一郎議員からは、新型コロナウイルス感染者が発生したときの学校現場の対応、義務教育課程における少人数学級の実施状況及びその課題について質問があった。これに対し、マ

スク着用の徹底とこまめな換気を行いつつ、座席の間隔を最大限に取ることにより身体的距離を確保するよう努めた。また、少人数学級の課題については、学級数の増加による教室棟の増設や教職員の増員などが大きな課題になるとお答えした。

橋本幸一議員からは、GIGAスクール構想に伴う環境整備の進捗状況などについて質問があった。これに対し、タブレットパソコン、モバイルルーター、WEBカメラ、無線LAN用のアクセスポイント、充電保管庫の設置について12月中に完了予定である。活用については、児童生徒がタブレットパソコンを自分の学習道具としてドリル学習ソフトなどで自主学習に活用することが可能となる。人材育成については、ICT担当者研修を実施し、その担当者が校内研修を行っているところである。また、ICT授業サポーター、内部研究部会等と連携をとりながら教職員のスキルアップを図っていくとお答えした。

亀田英雄議員からは、坂本町の自治公民館の復旧についての市の支援についてお尋ねがあった。これに対し、発災後現地調査を行った。被災状況や地域の動向、復旧の意向等実情の把握に努め、必要な支援策を検討しており、国や県の支援と合わせ、地元の方々の力になれるよう支援してまいりたいとお答えした。

(質問なし)

〈報告第26号〉令和2年度12月補正予算の概要について

和久田教育部次長

資料により説明

12月補正予算先議分

●人事院勧告等に準じた給与改定

12月補正予算12月18日可決分

●債務負担行為の設定

「八代市立小・中・特別支援学校タブレットパソコンリース」他8事業について、年度当初からの履行開始に備えるため、3月中に契約締結まで行えるよう債務負担行為の限度額設定を行う。

●繰越明許費

「社会教育センター管理事業」に49万円の限度額設定を行う。

(質問なし)

〈八市教委議第39号〉八代市立幼稚園規模適正化等審議会における諮問について

高嶋学校教育課長 諮問する内容について資料により説明

諮問1 社会のつながりが希薄化する中で幼児期の生活全体が豊かなものになるため、家庭生活と幼稚園生活の連続性をふまえた幼稚園教育の充実、家庭地域と連携した幼児期の教育が重要であると考え。また、幼稚園教育において、小学校との円滑な接続が明確化されたことなどから幼児が健やかに育つためには、幼稚園と義務教育との連携が一層重要であることを踏まえ、幼稚園教育の必要性と八代市立幼稚園に求められる機能や役割を踏まえた幼稚園教育の在り方について諮問する。

諮問2 保護者の就労形態の多様化などにより教育に対する意識やニーズが変化していることなどにより求められる幼稚園経営の在り方も変化していると考え。また、都市化や核家族化が進み、地域や家庭の教育力の低下が懸念され、子育てに不安を抱える保護者も増えていると考えている。満3歳児保育の実施や預かり保育の拡充など保護者ニーズに対応し、「選ばれる幼稚園」を目指した幼稚園経営の在り方や地域や家庭支援の在り方について諮問する。

諮問3 同年齢や異年齢での集団の中で遊びを通してさまざまなことを学ぶ幼稚園教育では学級的人数は、子供にとって重要な環境であると考えられる。また幼児期は集団との関わりから自立心や人との関わる力を培い、多くの友達と接することにより影響を与え合い切磋琢磨する時期とも考えられることを踏まえ、幼稚園教育の目的を十分に果たすために必要な集団の在り方について諮問する。

奥村教育委員 諮問書に記載された3点について、大まかに記載されているままに諮問するのか。この具体的な細かな部分については、準備中なのか。

井上学校教育課
審議員 基本的には、諮問書にある3点について諮問したいと思っているが、わかりにくい部分もあるかと思うので、先ほど説明したように、審議会においても審議会委員の方へ説明する予定である。

【議案第39号 承認】

〈報告第27号〉修学旅行の中止等に伴うキャンセル料等補助金の交付について

高嶋学校教育課長 資料により説明
修学旅行を実施するに当たり、感染拡大の状況に応じた延期や行先変更等の柔軟な対応が必要となっている状況である。延期又は中止することに伴い発生するキャンセル料等の追加費用等を補助することにより、保護者の経済的な負担軽減を図り、安心・安全な修学旅行実施に向け学校の早急な判断を促す。

水田教育委員 修学旅行を延期したり、中止したりしている学校は把握されているか。

高嶋学校教育課長 日奈久中、二見中、日奈久小が延期をし、坂本中が目的地を変更している。

富田教育委員 現在までに修学旅行を実施した学校はわかるか。

高嶋学校教育課長 支援学校は目的地を変更して実施し、坂本中が日帰りを実施、鏡中は中止を早々に決定していた。その他の中学校は、2月・3月に実施予定となっている。小学校は、ほぼ終わっているが、日奈久小が延期し、鏡小が2月、太田郷小が予定を変更して3月に日帰りを実施予定となっている。

5. 連絡事項
- | | |
|------------|---|
| 教育政策課 | 1/20 市長と給食の会食（八竜小）について |
| 学校教育課 | 今年度学校訪問の終了について、新型コロナウイルス感染者の発生した2校の臨時休校について |
| 生涯学習課 | 令和3年成人式の開催方針について |
| 教育サポートセンター | くま川教室閉級式、開級式について、くま川教室カレンダー完成について |
| 博物館 | 1月貸会場の展示について、冬季特別展覧会について、泉中修学旅行事前学習会について |
| 事務局 | 1月定例会日程確認（1/22 14：00～） |

6. 会議録署名委員の指名 富田委員・松永委員

7. 閉会 (午後4時3分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
